

○ 大阪の都市魅力を活かした取組が適切に実施されているか

中之島・大阪の都市魅力向上のため、中之島にある4つの美術館とユニークベニュー、アフターコンベンションとしての利用について協議を進めた。また、中之島の水辺という当会議場の立地条件を活かし、大阪国際会議場前港を利用したアフターコンベンションである「船周遊」について船会社と提携を締結した。
水運については、2025万博に向けて大阪国際会議場前港の活用を進めるべく、船会社との調整を進めた。
このほか、大阪観光局、ホテル、交通事業者等と連携し、生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪、キテミテ中之島イベントなどの大阪・中之島の魅力づくりに取り組んだ。

A

アフターコンベンションとして、船周遊に係る提携を締結し自主事業を開始したり、MICE業界に留まらず交通事業者とも連携し中之島の魅力づくりの取り組み等、これまでにない新たな取り組みを実施したと認められる。

A

■国際会議誘致の取組内容

○ 国際会議の誘致の開催目標件数は達成されたか【※】

	年度	H31	R2	R3	R4	R5	R10
		2019	20	21	22	23	28
指定管理	開催	60	62	62	65	70	70
	成約	55	55	53	50	50	55
提案時目標	開催	60	—	—	—		
	成約	55	20	27	37		
年度目標	開催	60	—	—	—		
	成約	55	20	27	37		
実績	開催	57	0	0	19		
	成約	55	39	45	26		

(成約：当該年度以降、R10年度までに開催されることとなる国際会議の成約件数であり、当該年度の開催件数とは一致しない。)

・主要三施設（10階会議室、イベントホール、メインホール）

	稼働率	H31	R2	R3	R4	R5
		2019	20	21	22	23
指定管理	主要三施設日数	86.2	86.4	86.7	86.9	87.3
	全館利用単位	41.2	41.3	41.4	41.5	41.7
提案時目標	主要三施設日数	86.2	18.8	36.9	53.2	
	全館利用単位	41.2	11.7	20.8	32.9	
年度目標	主要三施設日数	86.2	18.8	36.9	53.2	
	全館利用単位	41.2	11.7	20.8	32.9	
実績	主要三施設日数	76.2	33.7	81.0(※)	62.5	
	全館利用単位	47.4	19.1	71.3(※)	39.9	

(主要三施設日数稼働率の分子：使用した日数、分母：主要三施設すべてを使用した場合の日数)
(全館利用単位稼働率の分子：午前使用数+午後使用数+夜間使用数、分母：全施設利用した場合の使用数)
※R3は大規模接種センター設置期間を含めた数値。(接種センター設置期間を除いた稼働率 主要三施設：53.0% 全館：32.8%)

・主要三施設料金稼働率（10階会議室、イベントホール、メインホール）

	稼働率	H31	R2	R3	R4	R5
		2019	20	21	22	23
年度目標	主要三施設料金		18.2	28.9	50.2	
	実績	71.9	26.5	100.3	61.0	

(分子：主要三施設の施設利用料、分母：主要三施設の全施設を9時～21時で利用した場合の施設利用料)

○ 大阪の都市格向上に繋がる国際会議を誘致する戦略的な取組が適切に実施されているか
・戦略的情報ネットワークの形成状況

2022年度第3四半期国際会議開催・誘致件数
開催 19件
成約 26件

2022年度第3四半期稼働率
主要三施設 62.5%
全館利用率 39.9%

2022年度第3四半期主要三施設料金稼働率
主要三施設料金稼働率 61.0%

オール大阪の取り組みとしては、「2023年主要国首脳会議関係関係僚会合」を大阪府・堺市と共に誘致推進した（9月、「G7大阪・堺貿易大臣会合」の開催が決定、再掲）。
また、大阪観光局やインテックス大阪等と連携し、大阪・関西万博のアピール及び首都圏での各種大会やイベントを誘致する「Team Osaka MICE」プロジェクトが6月に始動し、中心メンバーとして積極的に参画した。さらに、12月開催のMICE EXPO in Kansaiに参画した。
G7貿易大臣会合の開催決定を踏まえS評価とした。

A

新型コロナウイルスの影響で、国際会議を開催できない状況が続いていたが、今年度は国際会議を既に19件開催しており、回復の兆しが見える。また、各目標数値についても12月末時点で達成可能な数値となっている。全ての数値について目標以上の数値となるように努められたい。

A

S

「G7大阪・堺貿易大臣会合」については、大阪府・堺市と連携して誘致推進し、誘致に成功した。また、新たに「Team Osaka MICE」プロジェクトを始動し、首都圏へ出張し営業を行う等、大阪の都市格向上に繋がるこれまで以上に戦略的かつ新たな取り組みが認められる。

S

	<p>○ 飲食、物販、ケータリングなどのサービス事業の取組みが適切に実施されたか</p> <p>○ 施設をPRする取組みが適切に実現されたか</p>	<p>来場者へのおもてなしとなる飲食に関して、今後は飲食施設運営委託事業者及び弁当供給事業者と連携の下、「食の都・大阪」にふさわしい特色ある多様なお弁当を提供すべく、お弁当メニューの増加、充実を図るとともに、弁当供給事業者等との意思疎通の場を定例化した。</p> <p>新たなサービス事業として</p> <p>① 中之島水上観光の紹介</p> <p>② 主催者用物品の貸出、新貸出用物品の開発・導入、販売拡大</p> <p>③ JTB等の通販サイトを利用した大阪（関西）お土産案内</p> <p>ホームページ等によりお客様へのタイムリーな情報提供に努めるとともにSNSでの発信を強化し（概ね週1回以上）、多くのフォロワーを確保した（ツイッター639件、インスタグラム233件）。</p> <p>広報誌「GRANDCUBE PRESS」を発行した(2,000部)ほか、MICE EXPO in KANSAI 2022に出展し、PRに務めた。</p> <p>また、e予約の周知を図るため、在阪企業にPRハガキ300枚を発送した。</p>	A	<p>飲食、物販、ケータリング等のサービスに加え、水上観光の紹介やお土産案内等、会場の利用のみにとどまらないサービスが提供されている。</p> <p>SNSについてはフォロワー数が昨年度より増加している。また、新たに展示会へ出展する等、PRの取組が行われている。</p>	A	
	<p>○ 利用者（主催者・来場者）にとって魅力的な自主事業が適切に実施されたか</p>	<p>例年5月に開催している当社主催行事である「中之島リパーフェスタ」が2年ぶりに開催され、近隣の住民の皆様はもとより大阪府民・市民の皆様にも広く親しんでいただいた。</p>	A	<p>新型コロナウイルスの影響で実施できていなかった催事を実施した。引き続き、新たな自主事業等の検討・実施にも取り組まれない。</p>	A	
(5)機能向上のための取組内容	<p>○ 機能向上のための取組みが適切に実施されたか</p>	<p>別紙「機能強化費執行状況」のとおり</p> <p>経営状況が厳しいなか新規投資を節減せざるを得ず、目標額に達しない見込みであるため、B評価とした。</p>	B	<p>機能強化費は10年間で10億円（年平均1億円）以上の投資を求めている。</p> <p>R元年度：102,481千円 R2年度：30,577千円 R3年度：267,367千円</p> <p>計 400,425千円</p> <p>2千5百万円程度の執行予定を下回る見込みとなったが、光熱水費の高騰等、やむを得ない事情は一定認められ、4年で平均1億円は超える執行状況となっている。計画的かつ効果的な機能強化の計画に努められたい。</p>	B	
(6)施設・設備・備品等の維持管理の内容、適格性及び実現可能性	<p>○ 維持管理の役割分担に基づき、適切に実施されたか</p> <p>○ 施設、設備、備品等の安全管理・安全対策が適切に実施されたか</p> <p>○ 施設、設備、備品等の改修、修繕、更新が適切に実施されたか</p> <p>○ 効率的、計画的に適切に実施されたか</p>	<p>別紙「修繕費執行状況」のとおり</p>	A	<p>維持修繕については、指定管理の協定どおりの金額の執行が見込まれ、計画的な執行が進められている。</p>	A	
(7)府施策との整合	<p>■以下の取組みが適切に実施されたか</p> <p>○ 府や公益事業への協力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025大阪・関西万博を見据えた会議の誘致や自主事業の企画等 <p>○ 行政の福祉化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職困難者の雇用・就労支援 ・障がい者実雇用率 ・知的障がい者の清掃現場就業状況 	<p>2025年大阪・関西万博の機運醸成を進めるために、万博に向けた初の国際会議である「2025年日本国際博覧会IPM2022」を誘致し、開催された。また、万博のアピール及び首都圏での各種大会やイベントを誘致する「Team Osaka MICE」（大阪観光局やインテックス大阪等で構成）に中心メンバーとして積極的に参画した。（再掲）さらに、大阪大学・大阪公立大学との連携による国際シンポジウムの開催や船会社と協働のもと中之島から夢洲への舟運実施の検討を進めた。</p> <p>7月にはコカ・コーラ社と連携し、「大阪・関西万博支援自販機」第1号機を1階プラザに設置するとともに、万博機運醸成イベントを開催した。</p> <p>就職困難者の雇用については、2021年5月1日から母子家庭等就業・自立支援センターの紹介を経て1名採用している。</p> <p>知的障がい者の雇用促進については、清掃業務の再委託先と契約を締結し、勤務時間、人数等に合った訓練場所、機会の提供に努めている。また、植栽の水やりや手入れの委託先についても同様の内容で契約している。</p>	A	<p>万博に関連した取り組みに努められている。開催を2025年に控えており、より一層万博に関連した会議の誘致に努められたい。</p> <p>昨年度に引き続き、就職困難者の雇用が行われている、引き続き継続的な雇用の確保に努められたい。</p>	A	

		<p>○ 府民・NPOとの協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体等との協働事業 ・中之島の地域活性化に向けた自主事業の企画 <p>○ 環境問題への取組み</p>	<p>地域との共生の取組みとしては、当社主催行事である「中之島リパーフェスタ」を2年ぶりに開催し、近隣の住民の皆様はもとより大阪府民・市民の皆様にも広く親しんでいただいた（再掲）。関係各社と協議を進め、2年続けて中止になった「中之島なつまつり」を開催した。また、プラザを利用したラジオ体操や餅つき大会に協力したほか、生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪、キテミテ中之島イベントに参画した。</p> <p>SDGsへの取組みについては、昨年度策定した「SDGs推進基本指針」に基づき、全社によるアクションプランを策定して取組みを進めている。</p> <p>① 5月には会議の開催を通じてSDGsの推進をはかるため、SDGsに貢献する国際会議等への支援制度を増強した。また、NPO等によるSDGs関連国内会議についても開催支援制度を開始した。</p> <p>支援により、11月に「OSAKAZEROカーボンファウンデーション設立一周年記念フォーラム」が開催された。（再掲）</p> <p>② 6月には、パートナー会社を含むオールOICCによる「第1回SDGs・環境委員会」を開催し、今後のSDGsの取組み方策等について協議した。</p> <p>③ 来館される方の多様性への対応を進めるため、スタッフのユニバーサルマナー研修や、コミュニケーションボードの導入、ピクトグラムを利用した館内案内等のサービスを計画した。また、情報を発信する際にはWebアクセシビリティにも配慮すべく研究を進めた。</p> <p>省エネルギーについては、2019年度から導入済のESCO事業の改善・修正を行いながらエネルギー削減の効率化を図った。館内照明については2階OIC Caféの天井照明をLEDに変更するなど、順次LED化を進めている。また、空調効率の向上に向け、大型ガラス窓への遮熱フィルムの導入について調査を進めた。</p>	A	<p>地域団体との協働事業や中之島の地域活性化に向けた自主事業に適切に取り組んでいる。</p> <p>SDGsに係る国際会議の開催支援制度の開始、LED照明の設置等、新たな取組みを実施している。</p>	A	
--	--	--	---	---	---	---	--

機能強化費執行状況

【12月末現在】

単位：千円(税別)

(別紙)

No	件名		予定額	発注額	備考
	事業計画提案分				
1	特別会議場カーペット取替(抗菌抗ウイルス仕上げ)		9,000	4,100	
2	多機能トイレの自動扉改修工事		6,000	7,150	
3	フロントサインスポットライト改修工事設計委託		10,000	(発注未)	
その他の計画外		小計(1)	25,000	11,250	
4	楽屋606便所内照明器具改修工事			100	
5	時計掛けスタンドの購入			150	
6	パンフレットサインスタンド用サイン設置工事			60	
7	9階事務室照明回路改修工事			66	
8	8階コンセント回路増設設置工事			765	
9	音声ライン確認用機材の購入			94	
10	プロジェクター専用移動台の購入			350	
11	デジタルサイネージクラウド化の為の機材の購入			316	
		小計(2)		1,901	
(事業提案事項+その他事項) 計			25,000	13,151	

修繕費執行状況

【12月末現在】

単位：千円(税込)

(別紙)

No	件名	予定額	発注額	備考
	事業計画提案分			
1	1, 2 階円柱改修工事	2, 200		
2	メインホール・観覧席シート修繕	2, 000	868	
3	荷捌き場入口シャッター修理	8, 250	8, 250	
4	電動シャッター修理(3箇所)	1, 250	1, 265	
5	イベントホール可動壁修理	2, 200		
6	スポットライト電源ケーブル取替工事	1, 000	605	
7	厨房機器取替工事	12, 000	7, 024	
8	舞台幕取替	4, 500	4, 378	
	その他の計画外	小計(1)	33, 400	22, 390
9	コロナ関係	1, 000	1, 096	
10	修繕(その他)	38, 350	44, 112	
11	什器・備品・消耗品(その他)	30, 000	8, 477	
		小計(2)	69, 350	53, 685
		(事業提案事項+その他事項) 計	102, 750	76, 075

II

評価項目	評価基準（内容） ＜取組内容とその効果等＞	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価	評価委員会の指摘・提言																													
II さらなるサービスの向上に関する項目	<p>(1) 利用者満足度調査等</p> <p>○ 利用者満足度に係るアンケート調査等が適切に実施されたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 催事主催者等会議場利用者の再利用の意向の割合 98.9% (単位：%) <table border="1" data-bbox="418 436 1127 667"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H31 2019</th> <th>R2 2020</th> <th>R3 2021</th> <th>R4 2022</th> <th>R5 2023</th> <th>R10 2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定管理提案時目標</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> </tr> <tr> <td>年度目標</td> <td>98.0</td> <td>98.7</td> <td>98.9</td> <td>98.9</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>98.7</td> <td>98.3</td> <td>95.8</td> <td>95.5</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>再利用・・・再利用の意向について、全体の内「たいへん思う」「思う」の回答の割合</p>	年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R10 2028	指定管理提案時目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	年度目標	98.0	98.7	98.9	98.9			実績	98.7	98.3	95.8	95.5			<p>2022年度第3四半期満足度調査 再利用 95.5% 平均 96.0% (平均は、「施設」「備品」「スタッフの対応」「再利用」にかかる満足度の平均) 数値目標に達しなかったためB評価とした。</p>	B	B	
年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R10 2028																											
指定管理提案時目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0																											
年度目標	98.0	98.7	98.9	98.9																													
実績	98.7	98.3	95.8	95.5																													
	<p>(2) その他創意工夫</p> <p>○ 創意工夫を持って、提案内容以外の取組みが実施されたか</p> <p>○ ウィズコロナ時代において公共施設が果たすべき社会的な貢献が適切に実施されたか(緊急時評価基準)</p>	<p>周辺地域の美化を進めるため「美化強化デー」を設け、原則毎月1日、堂島川左岸、土佐堀川右岸の公園、歩道の清掃活動を行った。</p> <p>「SDGs推進基本指針」に基づき、全社によるアクションプランを策定し、SDGsへの取り組みを進めた。5月には会議の開催を通じてSDGsの推進をはかるため、SDGsに貢献する国際会議等への支援制度を増強した。また、NPO等によるSDGs関連国内会議についても開催支援制度を開始した。</p> <p>支援により、11月に「OSAKAゼロカーボンファウンデーション設立一周年記念フォーラム」が開催された。(再掲)</p> <p>国際会議誘致支援制度やSDGs関連会議誘致支援制度を通じて、「アフリカ子どもサミット2022」や「世界がん撲滅サミット2022 in Osaka」、「OSAKAゼロカーボンファウンデーション設立一周年記念フォーラム」等の会議が開催された。(一部再掲)</p> <p>関係各社と協議を進め、2年続けて中止になった「中之島なつまつり」を入場を制限して開催した。また、プラザを利用した地域の子供たちのラジオ体操の実施に協力した。</p> <p>12月には、京阪HDと共催でアート講座を開催したほか、中之島連合振興町会の餅つき大会に協力、アートイベント「キテミテ中之島」に参画した。</p> <p>大阪の経済への貢献を目的に、コロナ禍の影響下のなか、興業やイベントを積極的に誘致した。大阪府吹奏楽コンクール、日本高校ダンス部選手権近畿・中国・四国大会、各種コンサート、展示会等が開催された。</p> <p>12月には高校軽音楽部の全国大会が開催された。</p>	A	A																													

III

評価項目

評価基準（内容）
＜取組内容とその効果等＞

指定管理者の自己評価

施設所管課の評価

評価委員会の
指摘・提言

(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度

○ 収支計画に則して適切に運営されたか

・ 指定管理提案時目標 (百万円)

年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R10 2028
売上	2,285	2,409	2,421	2,432	2,465	2,465
営業費用	2,254	2,373	2,385	2,397	2,414	2,414
営業利益	31	36	36	35	51	51
受取利息等	36	32	26	24	24	24
経常利益	67	68	62	59	75	75

・ 年度当初の目標 (百万円)

年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023
売上	2,285	607	1,571	1,840	
営業費用	2,254	1,916	1,885	2,087	
営業利益	31	▲1,309	▲314	▲246	
受取利息等	36	22	20	22	
経常利益	67	▲1,287	▲293	▲223	

・ 実績 (百万円)

年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023
売上	2,163	952	2,603	1493	
営業費用	2,127	1,835	2,312	1,615	
営業利益	36	▲883	291	▲121	
受取利息等	36	30	28	23	
経常利益	74	▲852	316	▲99	

○ 新型コロナウイルスの影響を踏まえ、適切な対応を講じているか。（緊急時評価基準）

2022年度第3四半期収支実績

売上 1,493 百万円
 営業費用 1,615 百万円
 営業利益 △121 百万円
 受取利息等 23 百万円
 経常利益 △99 百万円
 詳細は別添「収支実績」のとおり。

サービス事業の強化、仮予約の早期成約化をはじめとする大増販活動に取り組み、売り上げの増大と収支の改善に努めている。

営業の強化として、「法人営業におけるロイヤルカスタマー」、「SDGs・万博関連催事」、「全国大会、地方予選会等のイベント会場として当大阪国際会議場が『聖地化』となる催事*」について精力的に誘致訪問等を行った。

*大阪府吹奏楽コンクール、高校生軽音楽部全国大会、日本高校ダンス部選手権近畿・中国・四国大会 等

また、「受注拡大」を目指し仮予約催事において管理職帯同による担当者のお客様訪問等での誘致活動やコロナの影響で最近ご利用の無いリピーターのお客様への訪問や電話、メール等でご案内し、利用の促進を行った。

販売力の強化としては、前期に引き続き、社会情勢に応じたサービス事業の提供として「WEB配信会議商品」「感染防止策の商品」を全社挙げて販売した他、「弁当・コーヒーサービスといった飲食や物販」「新規導入したプロジェクター等備品」等を中心に販売単価の増加(ONE MORE UP SELL)を行い、増収を目指した。

営業費用については、エネルギーコストが急騰しており、水道光熱費が第3四半期までで計画より3,380万円上昇、年間では5千万円上回る見込みであり、収支を大きく圧迫している。

新型コロナウイルスの影響を踏まえ、IT化により効率的な運営をさらに進めたほか、お客様のサービスに影響を与えない範囲内で省エネや諸経費の節減に努めてきた。

一方、国際会議誘致開催支援制度を弾力化し、ハイブリット会議、オンライン会議として開催されたものについても適用したほか、感染防止対策に努め、お客様に安心いただける提案活動を行った。

B

12月末時点で赤字見込となっている。これまで例のない光熱水費の値上げによる影響が大きく、営業費用が膨らんでいる事はやむを得ず、府より光熱水費増加分相当の費用を補助する予定としているが、売上増加の為の様々な取り組みを継続し、赤字額の減少に努められたい。

B

A

催事需要が回復途上である事や光熱水費の高騰等の要因がある中、サービスに影響を与えない範囲で諸経費の節減に努められている。

A

III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目

2) 安定的な運営が可能となる人的能力	<p>○ 総務、施設管理、営業等の各部門に必要な人員が適切に配置されたか</p> <p>○ 職員の採用、確保が適切に実施されたか</p> <p>○ 職員の指導育成、研修が適切に実施されたか</p> <p>○ 職員の勤務形態、勤務条件が適正に確保されたか</p> <p>【参考値】部門別従業員配置（R4年7月）</p> <table border="1" data-bbox="445 955 1113 1423"> <thead> <tr> <th></th> <th>部門</th> <th>配置数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">プロパー</td> <td>総務管理・経営企画</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>国際会議等誘致</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>予約・催事運営</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">全社</td> <td>総務管理・経営企画</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>国際会議等誘致</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>予約・催事運営</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p>(営業部長、次長は総務管理・経営企画に含む。)</p>		部門	配置数(人)	プロパー	総務管理・経営企画	6	国際会議等誘致	7	予約・催事運営	6	合計	19	全社	総務管理・経営企画	12	国際会議等誘致	9	予約・催事運営	10	合計	31	<p>総務部門、営業部門を合わせ、2022年2月、4月に8名の社員を新規に採用した。一人一人が元気で明るく働ける職場を目指し、対話を中心とした従業員の育成として次の活動を進めた。</p> <p>しかしながら、企画課については補充ができず、B評価としている。</p> <p>従業員のスキル向上やネットワークづくりを目的として「大阪MICEアカデミー」や「大阪商工会議所主催 総務・人事労務関連セミナー」への積極的参加を行った他、幹部養成のため、KPCマネジメントスクールやKPC女性リーダー交流フォーラムに社員を派遣した。さらに、知識習得の向上を目的としてeラーニング「OICCスクール」の全員受講を進めた。</p> <p>メンタルヘルスケアについて、管理職を対象に研修を行った。また、ハラスメント防止について、社員及びパートナー企業従業員に対して研修を実施する予定。</p> <p>対話豊かな元気で明るい職場づくりを目指して、各課における「月次業務ミーティング(MM)」を実施し、「目標管理制度」の定着を進めた。</p> <p>7月には社内横断型の5つのプロジェクトチーム(IT化(2チーム)、情報発信、中之島の魅力づくり、SDGs課題解決)を立ち上げ、若手社員の活発な意見交換を実施している。</p> <p>メンタルヘルスに関しては、従業員のメンタル不調の一次予防を図るため、ストレスチェックを実施した。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>欠員となった箇所について、府の規程に基づき適切に公募等を行っているが、募集を行ったものの、採用に至らないケースがあった。</p> <p>8名の社員を採用したことで、昨年度より欠員となっていた箇所は減っているが、完全な解消には至っていないため、引き続き確保に取り組まれない。</p> <p>様々な観点から適切な研修が行われていると認められる。</p> <p>勤務形態、勤務条件の改善のため、様々な工夫を講じている。職員の心身両面での健康確保が図られるよう、引き続き適正な整備に努められたい。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>
	部門	配置数(人)																								
プロパー	総務管理・経営企画	6																								
	国際会議等誘致	7																								
	予約・催事運営	6																								
	合計	19																								
全社	総務管理・経営企画	12																								
	国際会議等誘致	9																								
	予約・催事運営	10																								
	合計	31																								
3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	<p>○ 施設運営管理者として、適切な財務状況が確保されているか</p>	<p>別紙計算書類のとおり</p>	<p>B</p>	<p>光熱水費の値上げによる影響により営業費用が膨らんでいる事はやむを得ないが、売上増加の為の様々な取り組みを継続し、赤字額の減少に努められたい。</p>	<p>B</p>																					